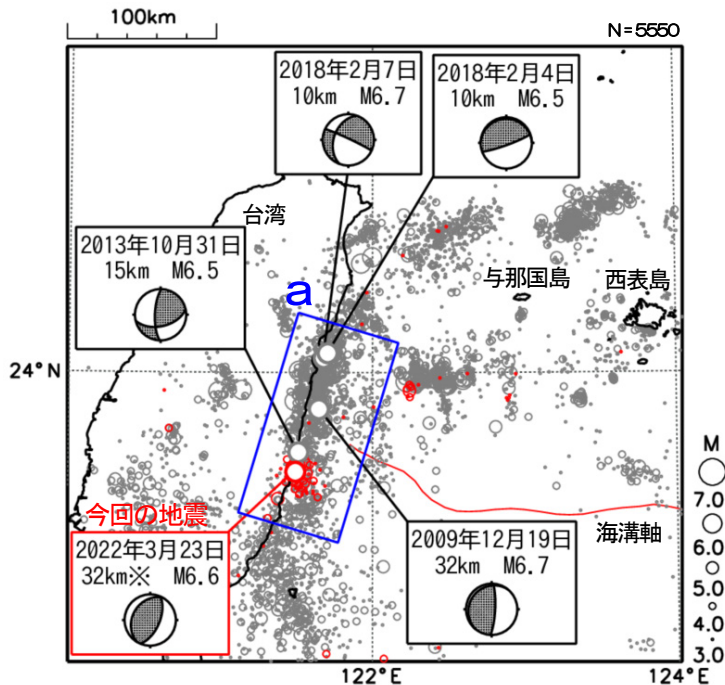


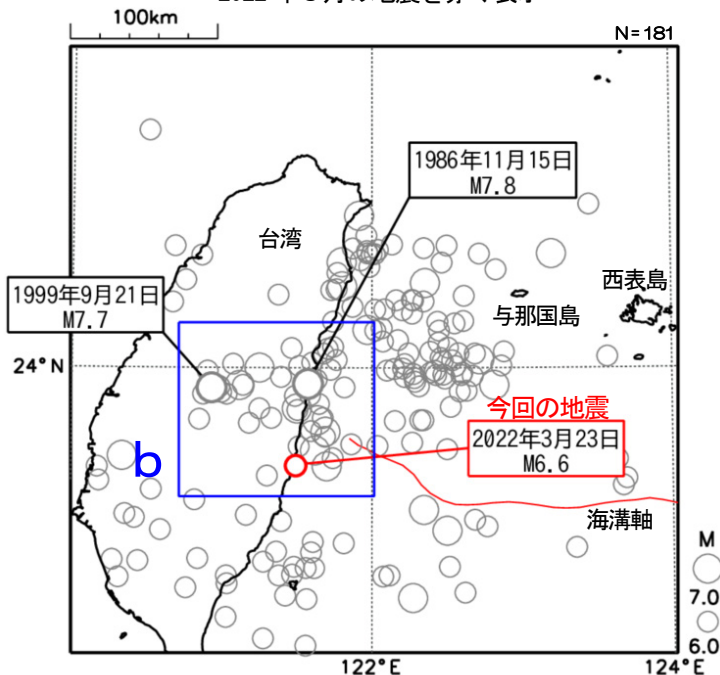
3月23日 台湾付近の地震

震央分布図
(2009年9月1日～2022年3月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)
2022年3月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



※今回の地震の深さはCMT解による

震央分布図
(1919年1月1日～2022年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2022年3月の地震を赤く表示

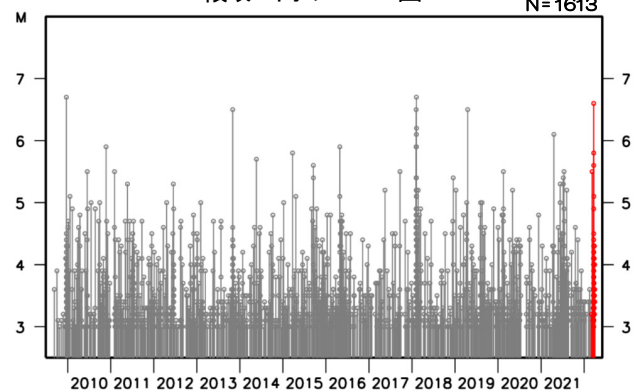


1986年11月15日の地震の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。その他の震源要素は気象庁による。

2022年3月23日02時41分に台湾付近の深さ32km (CMT解による) でM6.6の地震 (国内で観測された最大の揺れは震度2) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

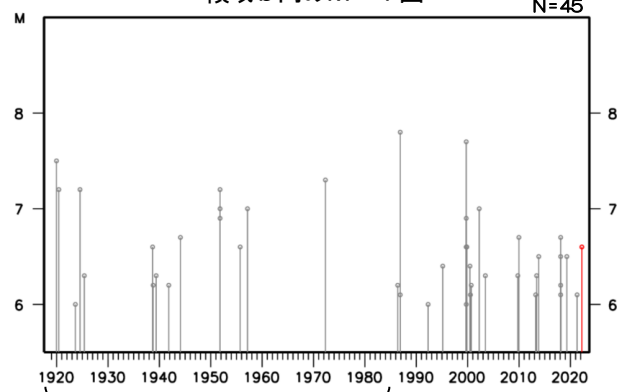
2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近 (領域a) では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2009年12月19日のM6.7の地震では、日本国内で観測された最大の揺れは震度3であった。

領域a内のM-T図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1986年11月15日にM7.8の地震 (国内で観測された最大の揺れは震度3) により、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人の被害があった。また、1999年9月21日にM7.7の集集地震 (日本国内で最大震度2) が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人の被害があった。(被害は、「宇津の世界被害地震の表」による)

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)